

代幾 I 小テスト [問題] (2008/11/13)

[注意]

- このテストは、古津先生の間接テストです。いつもとルールが異なるので注意してください。

- 試験時間は 90 分です。
- 持ち込みは「不可」です。もちろん、相談もできません。
- 解答は別紙の解答用紙に記入してください。できるだけ途中の計算結果も書きましょう。

問題 1

次の 4 次元ベクトル x, y について次の問に答えなさい。

$$x = \begin{pmatrix} i \\ -i \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}, y = \begin{pmatrix} 3 \\ i \\ i+1 \\ 1-i \end{pmatrix}$$

1. 内積 (x, y) を求めよ。
2. x の長さ $|x|$ を求めよ。

問題 2

1. 次の行列式の値を求めなさい。

$$\begin{vmatrix} 1 & 1 & 1 & 1 \\ 1 & i & -i & -1 \\ 1 & -1 & -1 & 1 \\ 1 & -i & i & -1 \end{vmatrix}$$

2. 次の行列式の値を求めなさい。

$$\begin{vmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 2 \\ 2 & 6 & 7 & 8 & 9 \\ 3 & 2 & 3 & 4 & 2 \\ 4 & 8 & 6 & 7 & 8 \\ 5 & 2 & 5 & 4 & 2 \end{vmatrix}$$

問題 3 次の行列式を因数分解しなさい。

$$\begin{vmatrix} a & b & c & d \\ d & a & b & c \\ c & d & a & b \\ b & c & d & a \end{vmatrix}$$

問題 4

次の連立方程式をクラームルの公式を用いて解きなさい。

Q.1

$$\begin{cases} 2x_1 - 4x_2 - 3x_3 = 0 \\ 2x_0 - x_1 - 3x_2 - 2x_3 = -4 \\ -x_0 + 3x_2 - x_3 = -4 \\ -2x_0 + 5x_2 + 4x_3 = 5 \end{cases}$$

問題 5 4 次の置換群 S_4 の要素

$$\sigma = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 4 & 1 & 2 & 3 \end{pmatrix}$$

に対して、 S_4 の部分集合 A_σ を、 $A_\sigma = \{\tau \in S_4 \mid \tau\sigma = \sigma\tau\}$ (σ との積が可換になるような要素全体の集合) と定めるとする。この時、次の問いに答えなさい。

1. $\sigma^n \in A_\sigma (\forall n \in \mathbb{Z})$ を示しなさい。
2. $\tau, \rho \in A_\sigma \rightarrow \rho\tau \in A_\sigma$ を示しなさい。
3. τ を互換とし、 $\rho \in A_\sigma$ とすると、 $\rho\tau \notin A_\sigma$ であることを示せ。
4. S_4 の要素数が $4! = 24$ であり、また、 S_4 に含まれる相異なる互換が ${}_4C_2 = 6$ 個あることを利用して A_σ の要素の個数を求めよ。
5. A_σ の要素を全て列挙しなさい。

代幾 I 小テスト [解答] (2008/11/13)

問題 1

次の 4 次元ベクトル x, y について次の問に答えよ。

$$x = \begin{pmatrix} i \\ -i \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}, y = \begin{pmatrix} 3 \\ i \\ i+1 \\ 1-i \end{pmatrix}$$

1. Q. 内積 (x, y) を求めよ。

A.

$$\begin{aligned} (x, y) &= \left(\begin{pmatrix} i \\ -i \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 3 \\ i \\ i+1 \\ 1-i \end{pmatrix} \right) \\ &= i \times \bar{3} + (-i) \times \bar{i} + 1 \times \overline{(i+1)} + (-1) \times \overline{(1-i)} \\ &= i \times 3 + (-i) \times (-i) + 1 \times (-i+1) + (-1) \times (1+i) \\ &= -1 + i \end{aligned}$$

2. Q. x の長さ $|x|$ を求めよ。

A.

$$\begin{aligned} |x| &= \sqrt{(x, x)} \\ &= \sqrt{\left(\begin{pmatrix} i \\ -i \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} i \\ -i \\ 1 \\ -1 \end{pmatrix} \right)} \\ &= \sqrt{i \times \bar{i} + (-i) \times \overline{(-i)} + 1 \times \bar{1} + (-1) \times \overline{(-1)}} \\ &= \sqrt{i \times (-i) + (-i) \times i + 1 \times 1 + (-1) \times (-1)} \\ &= \sqrt{4} \\ &= 2 \end{aligned}$$

問題 2

1. Q. 次の行列式の値を求めなさい。

$$\begin{vmatrix} 1 & 1 & 1 & 1 \\ 1 & i & -i & -1 \\ 1 & -1 & -1 & 1 \\ 1 & -i & i & -1 \end{vmatrix}$$

A.

$$\text{与式} = \begin{vmatrix} 1^0 & i^0 & (-i)^0 & (-1)^0 \\ 1^1 & i^1 & (-i)^1 & (-1)^1 \\ 1^2 & i^2 & (-i)^2 & (-1)^2 \\ 1^3 & i^3 & (-i)^3 & (-1)^3 \end{vmatrix}$$

即ち、ヴァンデルモンドの行列式

$$\begin{aligned} &= \Delta(1, i, -i, -1) \\ &= ((-1) - (-i))((-1) - i)((-1) - 1)((-i) - i)((-i) - 1)(i - 1) \\ &= 4i(i - 1)(i + 1)(i + 1)(i - 1) \\ &= 16i \end{aligned}$$

2. Q. 次の行列式の値を求めなさい。

$$\begin{vmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 2 \\ 2 & 6 & 7 & 8 & 9 \\ 3 & 2 & 3 & 4 & 2 \\ 4 & 8 & 6 & 7 & 8 \\ 5 & 2 & 5 & 4 & 2 \end{vmatrix}$$

A.

$$\begin{aligned}
 \text{与式} &= \begin{vmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 2 \\ 2 & 6 & 7 & 8 & 9 \\ 3 & 2 & 3 & 4 & 2 \\ 4 & 8 & 6 & 7 & 8 \\ 5 & 2 & 5 & 4 & 2 \end{vmatrix} \\
 &= \begin{vmatrix} -2 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 2 & 6 & 7 & 8 & 9 \\ 3 & 2 & 3 & 4 & 2 \\ 4 & 8 & 6 & 7 & 8 \\ 5 & 2 & 5 & 4 & 2 \end{vmatrix} && \text{1 列目から、3 列目を引く} \\
 &= (-2) \begin{vmatrix} 6 & 7 & 8 & 9 \\ 2 & 3 & 4 & 2 \\ 8 & 6 & 7 & 8 \\ 2 & 5 & 4 & 2 \end{vmatrix} && \text{1 行目で展開} \\
 &= (-2) \begin{vmatrix} -3 & 7 & 8 & 9 \\ 0 & 3 & 4 & 2 \\ 0 & 6 & 7 & 8 \\ 0 & 5 & 4 & 2 \end{vmatrix} && \text{1 列目から 4 列目を引いた} \\
 &= (-2)(-3) \begin{vmatrix} 3 & 4 & 2 \\ 6 & 7 & 8 \\ 5 & 4 & 2 \end{vmatrix} && \text{1 列目で展開} \\
 &= (-2)(-3) \begin{vmatrix} -2 & 0 & 0 \\ 6 & 7 & 8 \\ 5 & 4 & 2 \end{vmatrix} && \text{1 列目から 3 列目を引いた} \\
 &= (-2)(-3)(-2) \begin{vmatrix} 7 & 8 \\ 4 & 2 \end{vmatrix} && \text{1 行目で展開} \\
 &= (-2)(-3)(-2)(7 \cdot 2 - 8 \cdot 4) && \text{たすきがけ} \\
 &= 216
 \end{aligned}$$

問題 3

Q. 次の行列式を因数分解しなさい。

$$\begin{vmatrix} a & b & c & d \\ d & a & b & c \\ c & d & a & b \\ b & c & d & a \end{vmatrix}$$

A.

$$\begin{aligned} \text{与式} &= \begin{vmatrix} a+b+c+d & b & c & d \\ a+b+c+d & a & b & c \\ a+b+c+d & d & a & b \\ a+b+c+d & c & d & a \end{vmatrix} \\ &\quad (\text{一列目に二、三、四列目を加えた}) \\ &= (a+b+c+d) \begin{vmatrix} 1 & b & c & d \\ 1 & a & b & c \\ 1 & d & a & b \\ 1 & c & d & a \end{vmatrix} \\ &\quad (\text{一列目の共通因数を括り出した}) \\ &= (a+b+c+d) \begin{vmatrix} 1 & b & c & d \\ 0 & a-b & b-c & c-d \\ 0 & d-b & a-c & b-d \\ 0 & c-b & d-c & a-d \end{vmatrix} \\ &\quad (\text{二、三、四行目から、一行目を引いた}) \\ &= (a+b+c+d) \begin{vmatrix} a-b & b-c & c-d \\ d-b & a-c & b-d \\ c-b & d-c & a-d \end{vmatrix} \\ &\quad (\text{一列目で展開}) \\ &= (a+b+c+d) \begin{vmatrix} a-b+c-d & -a+b-c+d & a-b+c-d \\ d-b & a-c & b-d \\ c-b & d-c & a-d \end{vmatrix} \\ &\quad (\text{一行目から二行目を引いて三行目を加えた}) \\ &= (a+b+c+d)(a-b+c-d) \begin{vmatrix} 1 & -1 & 1 \\ d-b & a-c & b-d \\ c-b & d-c & a-d \end{vmatrix} \\ &\quad (\text{一行目の共通因子を括り出した}) \end{aligned}$$

(続き)

$$\begin{aligned} \text{与式} &= (a+b+c+d)(a-b+c-d) \begin{vmatrix} 1 & 0 & 0 \\ d-b & a-b-c+d & 2(b-d) \\ c-b & -b+d & a+b-c-d \end{vmatrix} \\ &\quad (\text{一列目を二列目に加え三列目から引いた}) \\ &= (a+b+c+d)(a-b+c-d) \begin{vmatrix} a-b-c+d & 2(b-d) \\ -b+d & a+b-c-d \end{vmatrix} \\ &\quad (\text{一行目で展開}) \\ &= (a+b+c+d)(a-b+c-d)\{(a-b-c+d)(a+b-c-d) + 2(b-d)^2\} \\ &\quad (\text{たすきがけ}) \\ &= (a+b+c+d)(a-b+c-d)\{(a-c) - (b-d)[(a-c) + (b-d)] + 2(b-d)^2\} \\ &= (a+b+c+d)(a-b+c-d)\{(a-c)^2 - (b-d)^2\} + 2(b-d)^2 \\ &= (a+b+c+d)(a-b+c-d)\{(a-c)^2 + (b-d)^2\} \end{aligned}$$

(ここまでで、答としても良いが、ついでなので..)

$$\begin{aligned} \text{与式} &= (a+b+c+d)(a-b+c-d)\{(a-c)^2 - [i(b-d)]^2\} \\ &= (a+b+c+d)(a-b+c-d)\{[(a-c) + i(b-d)][(a-c) - i(b-d)]\} \\ &= (a+b+c+d)(a-b+c-d)(a+bi-c-di)(a-bi-c+di) \end{aligned}$$

(更に、規則性を探すと..)

$$\begin{aligned} \text{与式} &= (a+b+c+d)(a+bi-c-di)(a-b+c-d)(a-bi-c+di) \\ &= (a \times 1^0 + b \times i^0 + c \times (-1)^0 + d \times (-i)^0)(a \times 1^1 + b \times i^1 + c \times (-1)^1 + d \times (-i)^1) \\ &\quad (a \times 1^2 + b \times i^2 + c \times (-1)^2 + d \times (-i)^2)(a \times 1^3 + b \times i^3 + c \times (-1)^3 + d \times (-i)^3) \\ &= \prod_{k=0}^3 (a \times 1^k + b \times i^k + c \times (-1)^k + d \times (-i)^k) \end{aligned}$$

更に言えば、 $1 = i^0, i = i^1, -1 = i^2, -i = i^3$ なので...¹

¹自分で考えてみよう..

問題 4

次の連立方程式をクラームルの公式を用いて解きなさい。

A.1

$$\begin{aligned}
 |A| &= \begin{vmatrix} 0 & 2 & -4 & -3 \\ 2 & -1 & -3 & -2 \\ -1 & 0 & 3 & -1 \\ -2 & 0 & 5 & 4 \end{vmatrix} = -1 \\
 |A_0| &= \begin{vmatrix} 0 & 2 & -4 & -3 \\ -4 & -1 & -3 & -2 \\ -4 & 0 & 3 & -1 \\ 5 & 0 & 5 & 4 \end{vmatrix} = 1 \\
 |A_1| &= \begin{vmatrix} 0 & 0 & -4 & -3 \\ 2 & -4 & -3 & -2 \\ -1 & -4 & 3 & -1 \\ -2 & 5 & 5 & 4 \end{vmatrix} = -1 \\
 |A_2| &= \begin{vmatrix} 0 & 2 & 0 & -3 \\ 2 & -1 & -4 & -2 \\ -1 & 0 & -4 & -1 \\ -2 & 0 & 5 & 4 \end{vmatrix} = 1 \\
 |A_3| &= \begin{vmatrix} 0 & 2 & -4 & 0 \\ 2 & -1 & -3 & -4 \\ -1 & 0 & 3 & -4 \\ -2 & 0 & 5 & 5 \end{vmatrix} = -2
 \end{aligned}
 \qquad
 \begin{cases}
 x_0 = \frac{|A_0|}{|A|} = \frac{1}{-1} = -1 \\
 x_1 = \frac{|A_1|}{|A|} = \frac{-1}{-1} = 1 \\
 x_2 = \frac{|A_2|}{|A|} = \frac{1}{-1} = -1 \\
 x_3 = \frac{|A_3|}{|A|} = \frac{-2}{-1} = 2
 \end{cases}$$

問題 5 4 次の置換群 S_4 の要素

$$\sigma = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 4 & 1 & 2 & 3 \end{pmatrix}$$

に対して、 S_4 の部分集合 A_σ を、 $A_\sigma = \{\tau \in S_4 \mid \tau\sigma = \sigma\tau\}$ (σ との積が可換になるような要素全体の集合) と定めるとする。この時、次の問いに答えなさい。

1. Q. $\sigma^n \in A_\sigma (\forall n \in \mathbf{Z})$ を示しなさい。

A. [証明] $\sigma^n\sigma = \sigma^{n+1} = \sigma\sigma^n$ なので、 $\sigma^n\sigma = \sigma\sigma^n$ 。即ち $\sigma^n \in A_\sigma$ 。

2. Q. $\tau, \rho \in A_\sigma \rightarrow \rho\tau \in A_\sigma$ を示しなさい。

A. [証明] $(\rho\tau)\sigma = \rho(\tau\sigma) = \rho(\sigma\tau) = (\rho\sigma)\tau = (\sigma\rho)\tau = \sigma(\rho\tau)$ なので、 $(\rho\tau)\sigma = \sigma(\rho\tau)$ 。即ち $\rho\tau \in A_\sigma$ 。

3. Q. τ を互換とし、 $\rho \in A_\sigma$ とすると、 $\rho\tau \notin A_\sigma$ であることを示せ。

A. [証明] まず、 $\sigma(i) = ((i+2) \bmod 4) + 1 \neq i \neq \sigma^2(i) = ((i+1) \bmod 4) + 1$ ($\forall i \in 1..4$) と、 $i \neq j \rightarrow \sigma(i) \neq \sigma(j)$ ($\forall i, j \in 1..4$) に注意する。

互換を $\tau = (j, k)$ ($j \neq k$) とすると、 $\tau\sigma = \sigma\tau$ となるための必要十分条件は、両辺に左から τ^{-1} を掛けた $\sigma = \tau^{-1}\sigma\tau$ であるが、 τ が互換なので $\tau^{-1} = \tau$ となり、結局、 $\sigma = \tau\sigma\tau$ となる。これが成立する為には、少なくとも $\sigma(k) = \tau\sigma\tau(k) = \tau\sigma(j)$ かつ $\sigma(j) = \tau\sigma\tau(j) = \tau\sigma(k)$ でなければならない。ところが、次のように $\sigma(j)$ の値で場合分けすると、

($\sigma(j) = k$ の場合) $\sigma(k) = \tau\sigma(j) = \tau(\sigma(j)) = \tau(k) = j$ となる。すなわち、 $\sigma^2(j) = \sigma(\sigma(j)) = \sigma(k) = j$ なので $\sigma^2(j) = j$ 。これは、矛盾。

($\sigma(j) \neq k$ の場合) $\sigma(k) = \tau\sigma(j) = \tau(\sigma(j)) = \sigma(j)$ ($\sigma(j)$ は、 j でも k でもなく、 τ は、 j, k 以外は変化させないので)。これは、矛盾。

何れの場合も成立しないので、 $\tau \notin A_\sigma$ である。

また、 τ を互換とし、 $\rho \in A_\sigma$ かつ、 $\rho\tau \in A_\sigma$ とすると、 $\rho(\tau\sigma) = (\rho\tau)\sigma = \sigma(\rho\tau) = (\sigma\rho)\tau = (\rho\sigma)\tau = \rho(\sigma\tau)$ なので、 $\rho(\tau\sigma) = \rho(\sigma\tau)$ となる。ここで、両辺に左から ρ^{-1} をかけると、 $\tau\sigma = \sigma\tau$ となり、これは、 $\tau \in A_\sigma$ を意味するので、矛盾。

以上により、 $\tau\rho \notin A_\sigma$ 。

4. Q. S_4 の要素数が $4! = 24$ であり、また、 S_4 に含まれる相異なる互換が ${}_4C_2 = 6$ 個あることを利用して A_σ の要素の個数を求めよ。

A. 【注意】この問題は、「失題」である。「 A_σ の要素の個数」と、「 S_4 に含まれる相異なる互換の個数」は無関係なので、互換とは関係なく、「 A_σ の要素の個数」を求める。

[解答] $\rho \in A_\sigma$ とする。ここで、 ρ の 1 の像に着目して考える。 $\rho(1) = n$ とすると、 $\sigma(n) = \sigma(\rho(1)) = \sigma\rho(1) = \rho\sigma(1) = \rho(\sigma(1)) = \rho(4)$ 、すなわち、 $\rho(4) = \sigma(n)$ となる。同様にして、 $\rho(3) = \rho(\sigma(4)) = \sigma(\sigma(n))$ 、 $\rho(2) = \rho(\sigma(3)) = \sigma(\sigma(\sigma(n)))$ と一意に定まる。よって、 $\rho(1) = n = 1, 2, 3, 4$ の 4 種類しかない。

5. Q. A_σ の要素を全て列挙しなさい。

A. 前問の結果より、 A_σ の要素は σ^n ($n = 0, 1, 2, 3$) の 4 つだけである。

$$\begin{aligned} A_\sigma &= \{\sigma^0 = 1_4, \sigma^1 = \sigma, \sigma^2, \sigma^3\} \\ &= \left\{ \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 1 & 2 & 3 & 4 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 4 & 1 & 2 & 3 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 3 & 4 & 1 & 2 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 2 & 3 & 4 & 1 \end{pmatrix} \right\} \end{aligned}$$